

児童を守る

今年10月に設置した『こども家庭センター』では、児童虐待の相談支援を行い、児童相談所などの関係機関と連携し、虐待の実態把握・早期発見・防止に取り組んでいます。

児童虐待は、育児ストレス、近隣や親族との関係の希薄化、経済的困窮など、さまざまな要因が複雑にからみ合って生じます。虐待を防ぐためには公的機関による支援に加え、地域社会全体で子育て家庭を温かく見守り、支えていくことも大切です。

『虐待』は、特定の人や家庭に起こるものではなく、誰にでも起こりうる身近な問題です。

町では、虐待に関する相談窓口の充実、支援体制の強化、地域や関係機関と早期発見・早期対応につながるネットワークをつくり、住民の安全・安心な暮らしを守ります。

障害者を守る

『障害者虐待防止センター』を福祉係内に設置し、障害者虐待の防止に努めています。障害者への虐待を防ぐためには、障害の特性を理解し地域で支え見守ることや、養護者や施設従事者など障害者を支援する人も十分な休息が必要です。

障害のある本人や家族が、心配なこと、悩んでいることを自分たちだけで抱え込むことがないよう、障害や疾病について住民への周知を図ったり、民生委員児童委員や相談支援員などによる見守り体制を強化していきます。



高齢者を守る

『地域包括支援センター』を中心に、「高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)」に基づき、①虐待に関する相談対応、②医療機関・介護サービス事業所・警察など関係機関との連携、③介護施設に対し虐待防止の取り組みなどを行っています。

厚生労働省が実施している調査でも、全国的に相談件数は年々増加しており、内容は身体的虐待が最も多く、心理的虐待、介護放棄(ネグレクト)、経済的虐待と続いています。

その要因として、認知症の進行や介護者の介護疲れ・介護ストレス、知識・情報不足、介護力不足などがあり、さまざまな問題を抱える中で介護をしている家族への支援も「虐待防止」には重要とされています。

〴〵虐待かも、と思ったら、まずは相談してください

～ 相談・連絡は匿名でも受け付けます。相談者の秘密は守ります ～

電話相談	対象者	相談窓口	連絡先
	児 童	福祉課こども係 こども家庭センター 児童相談所全国共通ダイヤル(24時間対応)	☎67-5194 ☎189
	障害者	福祉課福祉係 障害者虐待防止センター	☎67-5162
	高齢者	福祉課介護保険係 地域包括支援センター	☎67-5182

来所相談

にこにこ甘楽(白倉1395-1)

相談時間：月～金・午前8時30分～午後5時15分(祝日、年末年始を除く)

虐待を未然に防ぐまちづくり

■福祉課 こども係 ☎(67)5194・福祉係 ☎(67)5162・介護保険係 ☎(67)5182

地域おこし協力隊員を紹介します

■ 甘楽ふるさと館 ☎(74) 2660・産業課農林係 ☎(64) 8319

地域おこし協力隊とは

都市地域から地方へ住所を移し、地域ブランドや地場産品の開発・PRなどの地域おこし支援、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、定住・定着を目的とする取り組みです。

10月1日、新たに2人を任命し現在11人の隊員が活動中です。



森平町長から委嘱状を交付された
川部さん(左)と庄司さん(右)

川部 勇樹(29歳)

東京都墨田区より

今までの経歴などは？

高校卒業後、将来はカフェを開業して仲間が集まれる場所を作りたいと考えていました。その間できるだけいろいろな経験をしたと思います、自衛隊に入隊したり起業をして多くの経営者の皆さんと事業を行ってきました。

応募動機は？

元々自然が大好きなこともあり、山や川に囲まれた生活に憧れ、その地域で行われている活動に興味・関心がありました。そんな条件にピッタリでさまざまな取り組みをしているところにひかれて応募しました。

今後の抱負を教えてください

諸先輩方から地域への取り組みについて学び、まずは町の特性を知っていきたいと思います。また外から来た人間として見える町や、自分の経験を通してこそ思い付くアイデアで新たな活力と本当に価値

あるモノを提供・追求していきます。



甘楽ふるさと館で活動する川部さん

庄司 梨沙(45歳)

神奈川県横浜市より

今までの経歴などは？

大学卒業後、貿易会社で事務をしていました。出産、育児を経た後、ホテルの衣装室にてウエディングドレスや和装のスタイリストとして接客、販売、仕入れなど多くの業務に携わってきました。

応募動機は？

子どもが一人暮らしを始めたことをきっかけに、第2の人生を考えた時、やってみたいことは子ど

もの頃から好きだった植物に関われる農業でした。何度か泊まり込みで農園のお手伝いに行き、大変でも体を動かした分の成果が見える楽しさや作物が育っていくうれしさを感じ、やっぱり農業をやってみたいと思った折に協力隊の募集を知り応募しました。

今後の抱負を教えてください

とにかくたくさんの人と交流し、町や農業について学んでいきたいです。有機野菜のあじわいや採れたて野菜のおいしさを家族、友人、ゆくゆくは購入してくださる人々にお届けし、みんなを笑顔にしていきたいです。また、地元の人気が付かない町の良さを発掘し、発信していきたいです。



ふるさと農園で農作業をする庄司さん

群馬県トラック協会甘楽富岡支部と 災害時協定を締結

■ 総務課庶務係 74-3131

町と群馬県トラック協会甘楽富岡支部(青木靖次 支部長)は10月4日、「災害時における物資等の緊急輸送に関する協定」を締結しました。

これにより、災害発生時に同支部会員の応援協力を得て必要な物資を迅速かつ効率的に輸送することが可能となり、町民の生活を早期に安定させることができます。地域防災力がまた一つ強化されました。



協定書を交わす青木支部長(右)と森平町長

みんなで
知ろう!

はじめての手話

「こんにちは」編

2/6

こんにちは



①人差し指と中指を立て、顔の前で時計の12時方向を指す



②手と頭を一緒に下げおじぎをする



JICA 海外協力隊便り vol.4



佐藤愛の アイ eye
パラグアイ 愛

▲市役所前に仲間が植えてくれた佐藤さんの記念樹の Sakura. "Ai Hime" と命名♪

ミチ
▲道の駅のキャラクター Michi と かんらちゃんのイベント旗

¡Hola(オラ)! ¿Cómo(コモ) estás(エスタス)?(スペイン語で「こんにちは! 元気ですか?」) JICA 海外協力隊でパラグアイのイグアスに派遣中の佐藤愛です。

8月22日はイグアス市の創立記念日で、今年25回目を迎える「EXPO YGUAZÚ」という万博が8月29日~9月1日までの4日間にわたって開催されました。

さまざまな企業や産業、商業関連の展示や販売、グルメ、エンターテイメントなどの催しがあり、たくさんの来場者が訪れ、とてもにぎやかでした。

市役所の環境課ブースも設けられ、以前市内の学校を訪問した際に子どもたちに描いてもらった絵を展示しました。また、ブースに立ち寄った子どもたちがごみ拾いに興味を持てるよう「手作りトング」を製作するワークショップを開き、多くの子どもたちと交流できました。その際に甘楽町やかんらちゃんを紹介すると、現地の人々は楽山園や桜並木の美しさに目を輝かせたり、かんらちゃんのサムライスタイルに興味を持ってくれたりして、私自身も町の魅力を再確認することができました☆



▲花笠音頭やさんさ踊りのパレード



手作りトングのワークショップ



観光

2024甘楽町 フォトコンテスト

11月29日
締切

四季折々の自然風景や観光スポット、イベントなど、町の魅力を最大限に伝えることができる素材であれば何でもOK！町の観光PRに活用でき、町民カレンダーやポスターなどに利用できる作品を募集します。

応募
期限

11月29日(金)

表彰
内容

最優秀賞…各部門1作品
優秀賞……各部門7作品

■ 産業課観光フォトコンテスト係
☎64-8320

プリント写真部門



四つ切りプリントで応募してください
(インクジェットプリントはA4も可)。

プリントした作品を下記へ持参または郵送にてお送りください。なお、作品の裏面には必要事項を記入した応募用紙を貼り付けてください。

〒370-2292

甘楽町大字小幡161-1

甘楽町産業課 観光フォトコンテスト係

1人3点まで
応募できるよ



両部門ともに
詳しくはこちら

インスタグラム部門



① インスタグラムの公式アプリをダウンロードし、自分の公開アカウントを作成

② 町公式アカウント「@kanra_kankou」をフォロー



Instagram ▶



③ 写真にハッシュタグ「#かんらフォトン2024」を付けて投稿（作品タイトル、撮影場所、撮影日時も忘れず記載して投稿してください）



ドライバーの安全運転意識を高めるため啓発活動を実施

家庭でも みんなで語ろう 交通ルール

秋の全国交通安全運動 に 取り組みました

9月21～30日の「秋の全国交通安全運動」に合わせ、交通安全協会、交通指導員、富岡警察署の皆さんによる巡回広報活動などが実施されました。

24日には、セブン-イレブン甘楽福島店前の交差点においてドライバーや自転車利用者に交通ルールの順守を呼び掛けました。